

感謝の声

私は母子家庭のため、受験時の費用が母の負担になることが非常に気がかりでしたが、この支援を受けられたことで心置きなく試験に挑め、合格することができました。これからも、沖縄の子ども達が自らの可能性を広げていけるように、サポートが続いて行くことを祈っています。

経済的に県外へ行けなかった人に希望がもてると思います。自分自身も将来的に余裕が出来た時、寄付できるような人材になりたいです。感謝しております。ありがとうございました。

ひとり親家庭で、県外大学進学は考えてもいませんでした。こうしたサポートが一つでも増えていけば、沖縄の未来も開けていけるのかなと思います。心から感謝いたします。ありがとうございました。



県外大学等進学サポート事業

県外の大学や専門学校への進学を希望する低所得世帯の高校生に対し、受験や進学に必要な渡航費用(上限10万円)を助成しています。

沖縄こどもの未来県民会議
つながり、みんなで育もう



沖縄こどもの未来県民会議

子どもがいる困窮世帯の割合 (沖縄県の現状)

県が平成27年度に実施した「子どもの貧困実態調査」において、沖縄県の子どもの貧困率は29.9%で、全国の1.8倍、子ども3人に1人が貧困状態で暮らしていることや日常的な食料品を買えなかった経験がある貧困世帯が多いことなど、子育て家庭の厳しい生活の現状が明らかとなりました。要因として、産業振興の遅れや高い失業率、一人あたりの県民所得が低いこと、ひとり親世帯の出現率が高いことなどが考えられます。

また、子どもがいる困窮世帯の割合は、2021年の23.2%から、2023年の20.2%と改善基調にあるものの、依然厳しい状況にあります。

沖縄こどもの未来県民会議の取り組み

沖縄こどもの未来県民会議では、社会の一番の宝である子どもたちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望をもって成長していける社会の実現を目指し取り組んでいます。今回は次の3つをご紹介します。



沖縄こどもの未来県民会議 ホームページ

《子どもに寄り添う給付型奨学金事業》

児童養護施設を退所する者などで大学等へ進学する者に対し、返済不要の奨学金を給付する。

《食支援連携事業》

企業から提供を受けた食料品などを、日本郵便の配送網を活用し、こどもの居場所などへ届ける。

《県外大学等進学サポート事業》

県外大学等への進学を希望する低所得世帯の高校生に対し、県外渡航費を支援する。

《あなたの応援をお待ちしています!》

企業サポーター(月額1万円)や個人サポーター(月額1000円)の会費制による継続的なご支援を募っています。

また、単発のご寄付も募集しておりますので、沖縄こどもの未来県民会議のホームページからお申込みください。

皆さまからの多大なるご支援により、子どもたちが経済的な理由で夢を諦めることなく、自分の将来に向かってチャレンジすることができています。

子どもたちの明るい未来のために、引き続きご支援をお願いします。

「おきなわSDGsアクションプラン」とは

沖縄らしいSDGsを推進していくための基本理念や優先課題(①~⑫)などに対応した具体的なアクション、モニタリングの指標などをまとめたものです。



←全文を 読めます



問い合わせ

子ども若者政策課 電話: 098-866-2100 FAX: 098-869-5146

必ずチェック! 最低賃金

沖縄県は952円

前年比 56円UP

使用者も、労働者も、必ず確認。最低賃金